

小規模多機能型居宅介護「2023年度サービス評価」 総括表

法人名	協同福祉会	代表者	大國 康夫	法人・事業所の特徴	住み慣れた地域で、安心して元気に暮らすことを支援します。まわりにはたくさんの緑・木々もあり、自然に囲まれた環境の良い施設です。 あすならでは「10の基本ケア」を実践する事で、利用者に「普通の暮らし」を取り戻してほしいと考えており、お年寄りを寝たきりにさせない介護へ繋げています。
事業所名	あすならホーム櫛本	管理者	山尾 紘平		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	13人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 職員が入れ替わる事があるので改善計画を事業所に貼り出し意識を持てるようにします。 情報共有でホワイトボードのルールを決めて運用します。 言葉遣いや気遣いをと年寄り、職員間でも意識して関わる。 	<p>職員の入替わりも特になく情報共有についてホワイトボードやガルーンを用いてできたと思う。職員も業務になれた割合も増え座って会話をする時間も確保することができた。</p>	<p>事業所評価について取り組んでいる割合が多くできている。</p>	<p>座って会話をしお年寄りと寄り添いながら生活の場を支える事業所づくりをしていきます。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 外から見て入りやすい雰囲気があるように花を植えます。また、利用者が外に出ているように入口周辺の環境を整理します。 	<p>花を植えて季節の変化を感じ取ることができた。改善計画である内容はたまか実現することができたと思う。</p>	<p>コロナ禍、コロナ後も事業所には入りにくくなっている部分があると思います。そのため事業所の様子が分かりにくい(事業所側も入る側もそれぞれ配慮があるため)</p>	<p>コロナ後で入りにくい雰囲気を替えるため、現在施設で行われていることを SNS 等で活用し伝えていく。また遠慮なく施設に寄ってもらえるように環境を整える。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 100歳体操の継続をします。 あすならサロンを再開し集える場を作ります。 買い物バスをニーズに合わせて運行します。 	<p>100歳体操について継続して行っています。サロンについては地域の声もあり定期的に集まることに抵抗がある方が多く月に1回ほどで集まる日を設けている。買い物バスのニーズは今のところは聞かず、コープより移動店舗は週に一度来てもらっています。年に6回の学習会を行いました。地域の家族さんより利用についての相談もいただきました。</p>	<p>地域の方が知っていただけるようになってきていると思う。コロナが影響していると思うが地域に開かれた相談しやすい場所にはなっていないかもしれません。地域の方が気軽に寄り合える場になるよう交流の機会も増えていくように取り組んでいただければと思います。</p>	<p>定期的な学習会等の開催を行い地域の方から気軽に相談できる施設をめざしていきたい。</p>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の方とのつながりで、挨拶をして関係性を繋いでいきます。 ・つながりマップを再開し、控えていた訪問での安否確認を再開します。 ・地域イベントに参加します。 	<p>暑い時期に地域の方の自宅へ熱中症確認の訪問をしました。地域のイベントとしては参加したものの規模が分からず職員のみ参加が多かった。</p>	<p>コロナの影響で地域へ出向く機会も少なくなっていると感じます。運営推進会議は再開されましたが、また以前のように地域の色々なイベントに参加できるように工夫した取組みが実践できることを期待しています。</p>	<p>今年度で地域の行事の規模等わかったので来年度は利用者さんも含め参加をしていく。地域の方も集いやすい行事や学習会を開催していきたいと思います。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンを情報発信の場として活用しつながり、消防、防災、防犯資料などが見れるようにしてきましたと思います。 ・現場の職員が交代で運営推進会議へ参加します。 ・ケアの取り組みや看取り等の事例を共有します。 	<p>今年度の後半より対面での会議が再開された。現場の職員として管理者、CMが参加することができました。取り組みについて報告することができました。</p>	<p>会議を通じた地域とのつながりを大切に事業所と地域の双方向の支える形が多く出てくることを望んでいます。</p>	<p>小規模多機能でできることや取組みを引き続き伝えサービスの理解をしてもらえるようにしていきたいと思います。利用者さんや家族さん、近隣事業所等幅広く参加してもらえるように促します。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練の開催案内と地域の方の参加を促します。 ・救命研修に参加します。 ・炊き出し訓練で地域の方にも協力していただき、訓練を行います。 	<p>地域の方に参加いただき炊き出し等手伝ってもらいました。救命研修に櫛本の職員3名参加しました。</p>	<p>事業所の防災災害対策について詳細は把握できていない。ただ地域とのつながりの強い事業所でもあるので災害時、地域から頼りにされる場になると思いますので地域と一体となった防災への取組みができるようになっていくことを望みます。</p>	<p>防災等について地域の方へ一緒に取り組めるように参加や話し合いをしていきたいと思います。訓練や備蓄等についても共有できたらと思います。</p>

